

# CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月  
発行日：毎月15日・月末  
PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 25 No.20 2023年10月31日

## 製品・サービス動向-国内

### ■VTV ジャパン：常時接続システム「VTV Office Leap」を発売

(PR TIMES：10月24日)

VTV ジャパン株式会社 (<https://www.vtv.co.jp/>) (東京都千代田区) は、遠隔オフィス間を接続して互いの映像を共有するオンライン常時接続システム「VTV Office Leap (ヴィティヴィオフィスリーブ)」を発売した。



VTV Office Leap イメージ (VTV ジャパン)

オンライン会議ツールで離れた拠点間を接続する常時接続システムが注目されているという。オフィスの映像が共有されることで相手の様子がリアルタイムでわかり、声をかけるタイミングがわからない、連絡が取れないなどのコミュニケーションロスから起こる不信感や疎外感を減らすことができる。同じオフィスで働いているかのように、社員同士のコミュニケーションが円滑になることが期待されている。

しかし一方で、いつも利用している「Zoom」や「Teams」などの Web 会議で常時接続をおこなって見たものの、映像がおもったよりも不鮮明でリアル感がない、毎日会議に参加する操作を行うのが面倒、だが専用システムを導入するにはコストがかかりすぎる、

といった相談を同社では受けている。

これら常時接続の課題を解決するには既存のサービスやシステムを利用するのではなく、常時接続に必要な機能のみに特化したシステムを開発することが必要だったという。

そこでこの度、VTV ジャパンでは、常時接続に特化した VTV Office Leap を発表。特長としては、設定時間に自動で接続・切断、サービス障害の影響を受けないオンプレミス設計 (BCP 対策にも) で、誰でも使えて接続忘れや操作ミスも起こらないという。

映像については、遠くの席の人の様子もよく見えるフル HD 画質に対応している。4K 対応オンライン会議製品の開発で培った技術が活かされている。



### 3つのモードを搭載 (VTV ジャパン)

また、コミュニケーションを促進する3つのモードを搭載している。基本のオフィス間共有モードの他に対話モードや一斉配信モードを加え、3つのモードをボタン一つで切り替えながら更にコミュニケーションを深めることができるという。

VTV ジャパンは、親拠点 PC と必要なライセンス、保守サポートをセットにしたレンタルで提供する。初期導入費用を抑えることができるという。

なお、発売と同時に、3か月の無料トライアルキャンペーンを開始する。常時接続の効果や社内に浸透するかが見込めずお悩みの場合は、実際に3か月間試した後に導入を検討できる。

## ■ ナイスモバイル：「Microsoft Teams Rooms」専用機器 MAXHUB 「MTR シリーズ」 購入予約開始

(PR TIMES:10月23日)

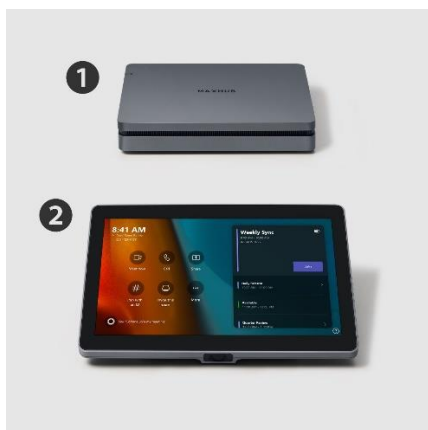
ナイスモバイル株式会社 (<https://nicemobile.jp/>) (長野県松本市) は、10月23日に、MAXHUB ブランドによる「Microsoft Teams Rooms」専用機器「MTR シリーズ」の購入予約を開始した。

MTR シリーズであれば、PC 一台分の価格帯で、会議室に入るだけで、自動で電源がつき、ワンタッチで会議を開始できる環境を構築できるという。また、ユーザの環境に合わせて、カメラ・マイク・スピーカー・デジタルサイネージとの組み合わせで選択できるセットを3つ用意した。

今回発表されたセットは以下の通り。

(1) 「XCore Kit for Microsoft Teams Rooms」:

ミニPCである「MAXHUB XC13T」と、タッチコントロールパネル「MAXHUB TCP20T」のセット。個人のPCは使わずに、外部機器のケーブルや Teams 立ち上げはすべてこの専用端末に集約している。



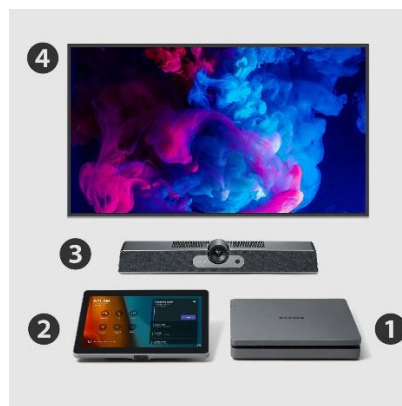
**XCore Kit for Microsoft Teams Rooms (ナイスモバイル)**

(2) 「Sound bar Kit for Microsoft Teams Rooms」: ミニ PC とタッチコントロールパネルに加え、参加者全員の顔と声を検知し、集音範囲 8m のアレイマイクを搭載したサウンドバー「MAXHUB Sound bar SE II」のセット。



**Sound bar Kit for Microsoft Teams Rooms (ナイスモバイル)**

(3) 「Full Set for Microsoft Teams Rooms」: ミニ PC、タッチコントロール、サウンドバーに加え、「MAXHUB デジタルサイネージ」のセット。MAXHUB デジタルサイネージは 43 型から 98 型までの豊富なサイズ展開であらゆる大きさの会議室に対応している。



**Full Set for Microsoft Teams Rooms (ナイスモバイル)**

ナイスモバイルによると、このセットがあれば全て揃うという。あとは会議室に合わせてディスプレイのサイズを選択できるようにもなっている。同社の MTR シリーズは他社の Microsoft Teams Rooms 専用機器の中でも、最安値で提供しているという。先着 50 社限定で XCore Kit for Microsoft Teams Rooms を 1 セットまで無料で提供するとしている。

## ■ キヤノンマーケティング：オンラインコミュニケーションをサポートする減音デバイス「Privacy Talk」を Makuake にて先行販売

(PR TIMES:10月27日)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (<https://cweb.canon.jp/personal/ichikaralab/>) (東京都港区) は、減音デバイス「Privacy Talk (プライバシートーク)」を応援購入サービス Makuake にて、10月31日(火) 10時より 11月29日(水) 18時まで、先行販売する。



Privacy Talk (キヤノンマーケティングジャパン)



使用イメージ (キヤノンマーケティングジャパン)

オンラインコミュニケーションが普及した今、場所や周囲の環境に左右されずにストレスフリーな会話をしたいというニーズが高まっている。その一方で、「声を発する際に必要となる周囲への配慮」や「安心してコミュニケーションがとれる環境の確保」など新たな悩みも発生しているという。

Privacy Talk はキヤノン MJ の企業内起業 ichikara

Lab (イチカララボ) がこれらの悩みに寄り添い、若年層とともにディスカッションする中で生まれたアイデア。コミュニケーションの手段が急速に多様化したニューノーマル時代において、オンラインコミュニケーションをもっと自由に、快適にできる環境の実現を目指して商品コンセプトを企画した。

Privacy Talk は、イヤホン・マイク・ファンを搭載した減音効果のある装着型のデバイス。同社によると、「これはWEB会議ツール」という。



音響メタマテリアル構造イメージ

音響メタマテリアル構造イメージ  
(キヤノンマーケティングジャパン)

ダブルマイク内蔵



ファン稼働音  
取得用マイク

音声取得用  
マイク

ダブルマイク内蔵  
(キヤノンマーケティングジャパン)

装着時に発した声を減音(-20dB)し、周囲の雑音を軽減する効果をもつため、さまざまな場所や環境での快適なオンラインコミュニケーションをサポートする。また、換気用ファンの搭載により通気性を確保しており、快適に使用できる。本製品は、スタイリッシュなデザインにより、ビジネスシーン・プライベートシーン問わずさまざまな場所やシーンで使用できる。発した声の減音と周囲の雑音を軽減できる特長によ



り、ビジネスシーンにおいてはオンライン会議の際に会議室や防音ブースを探す必要がなく、出勤時は自席、外出先ではカフェなど周囲に人がいる場所から気兼ねなく参加することができるという。プライベートシーンにおいては、オンラインゲームの際のボイスチャットやオンライン語学レッスンなどの幅広いシチュエーションで活用できるという。

本体は、音響メタマテリアル技術（前ページ写真）を採用し迷路のような構造にすることで、音を吸収する空気の通り道を本体内部に作り上げている。人の声を持つ特定の周波数帯域（1,000Hz～4,000Hz）の音を効果的に吸収しながら、呼吸のための空気の通り道を確保している。Privacy Talk を装着した際に発した声は、この構造を通過することで 20 デジベル程度減音されるため、周囲にいる人は内容を聞き取りづらくなる。

また、換気用ファンを内蔵し、本体内部の空気循環を促進することで湿気がこもりにくくなり、より快適な着け心地を実現している。加えて、ダブルマイクを搭載し、ファンの稼働音と音声をそれぞれのマイクで取得することで、ノイズとなるファンの稼働音を打ち消す処理を行っている。この処理により、オンラインで会話する相手にクリアな音声を届けることができる。

本体ボタンを 3 秒長押しすると電源が入り、ファンが起動する。パソコンやスマートフォン Bluetooth で自動接続されるため、Privacy Talk を装着するだけで必要なときにすぐに使用できる。また、有線接続で給電しながら使用できるため、バッテリーの充電が不足している時も使用可能となっている。

Makuake 限定価格は、23,400 円（限定数:120）。Privacy Talk と急速充電器/モバイルバッテリーセットもある。複数個購入セット割引や早割（5%）～超超早割（15%）割もある。購入者へは 12 月末までにお届けとなっている。

※Makuake：周りを気にせず WEB 会議。Canon の装着型減音デバイス Privacy Talk

<https://www.makuake.com/project/privacytalk/>

※減音デバイス Privacy Talk 紹介動画【キヤノン公式】

[https://www.youtube.com/watch?v=Vh\\_w\\_KAW900](https://www.youtube.com/watch?v=Vh_w_KAW900)

## ■ ブイキューブ、テレキューブ：新丸の内ビルのテレキューブをリラクゼーションスペースにリニューアル

（PR TIMES：10月26日）

株式会社ブイキューブ（<https://jp.vcube.com/>）（東京都港区）とテレキューブ株式会社（<https://telecube.jp/>）（東京都千代田区）は、新丸の内商業施設地下一階に設置されている個室ブース「テレキューブ」を新たなサードプレイスの活用方法の提案として「リラクゼーションブース」としてリニューアルした。



リラクゼーションブースにリニューアルしたテレキューブ（ブイキューブ）

コロナによって Web 会議が急速に浸透する中で、テレキューブは周りを気にせず Web 会議やワークスペースとして働ける新たなサードプレイスとして認知され、さまざまな場所への設置や導入が進んでいる。

現在、新丸の内ビル商業施設エスカレータ下のスペースには、テレキューブグループ1型（2人用）が1台設置されている。これまでの従来型のテレキューブと同様、個室にはソファとリモートワークスペースのテーブルが設置されている。

今回のリニューアルでは、多様化する働き方に合わせ、テレキューブを仕事と休憩時間の使い方も自由に使い分けできる空間へ進化させるとともに、テレキューブを新たなサードプレイスの価値として位置づけ、提案する。

ブース内にはゆったりと過ごせるリクライニングシート（1人用）とフラップテーブルを設置している。忙しく働くビジネスパーソンの際間時間を少し休憩や仮眠することでリフレッシュし、仕事の生産性向上をすることで新しい働き方に貢献したいと同社では説明する。サイドテーブルがあるため、これまで通りリモートワークにも、また仕事の合間でのリフレッシュ時間にも利用できるという。

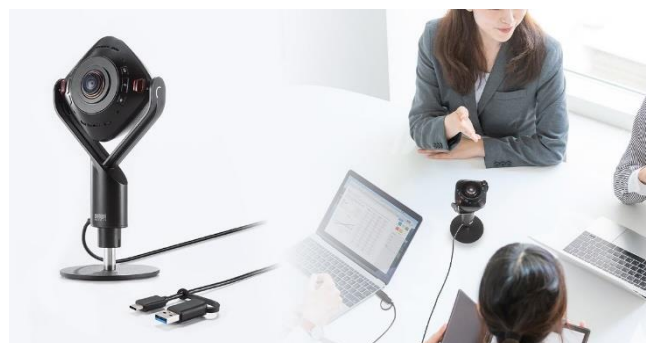
なお、本スペースの予約はこれまでと同様。料金は660円(税込)/30分。通信環境のWi-Fiが設置されているがベストエフォートでの提供となる。

## ■サンワサプライ：全員の顔が一度に映る、360°パノラマ撮影が可能なWEBカメラを発売、オートフレーミング機能対応

(PR TIMES:10月23日)

サンワサプライ株式会社 (<https://www.sanwa.co.jp/>) (岡山市北区) は、360°全方向をパノラマ撮影できる、USB A/Type-C 接続両対応スピーカ・マイク搭載 WEB カメラ「CMS-V71BK」を発売した。標準価格は 55,000 円 (税抜)。

CMS-V71BK は、カメラの両側に2つのマイクを、また背面にはスピーカを搭載しているため、これ1台でビデオ会議が行える。また、マイクはノイズリダクション機能に対応しており、周囲のノイズを低減することができるようになっている。本体にはミュートボタンもある。さらに映したい方向や画面設定、音量などを変更・調整することができるリモコンが付属している。



CMS-V71BK (サンワサプライ)



6種類のモードが選べる (サンワサプライ)

人物を検知する AI 機能を搭載しており、最適な構

図で画角を調整するオートフレーミング機能や、カメラ部に触れた方向の映像を表示したり、自動追尾する人物を選ぶことができるタッチセンサーを搭載している。

利用シーンに合わせて（前ページ）、「180° 分割モード」「360° パノラマ+1 画面モード」「2人モード」「3人モード」「全員モード」「正面モード」の6パターンの表示モードを切り替えることができるようになっている。

本体は、カメラ部を回転させることでカメラの向きを調節でき、また、台座取り付け部を伸縮させればカメラの高さも調節できるようになっている。

カメラ用三脚ねじを内蔵しており、別途市販のカメラ用三脚を取り付けることができるようになっている。打ち合わせなどでコの字形のレイアウトの際、中央に三脚を置いて使用すると撮影しやすく便利という。

付属品としては、カメラと付属品を収納できるケースと、レンズを守る保護カバー、クリーニングクロスがある。

## ■多摩電子工業：軽量、コンパクトなパソコン用スピーカーフォン「Permier AIR PRO」を発売

(PR TIMES：10月17日)

多摩電子工業株式会社 (<https://tamadenco.co.jp/>) (神奈川県川崎市) は、パソコン用スピーカーフォン「Permier AIR PRO(ペルミア エアプロ)」を10月17日に発売する。価格は4,980円(税込)。

Permier AIR PROは、USB-C 接続に対応した、軽量、コンパクトなスピーカーフォン。質量約119gで本体サイズは約W70 x H36 x D70mmと手のひらサイズを実現し、持ち運びが楽。取り外し可能なケーブルを採用しているため、収納の自由度が高まっている。また、PCにケーブル1本つなぐだけで、ドライバーをインストールする必要もなく、音声・給電が可能となっ

ている。

スピーカ部は、口径40mm、実用最大出力3W、音圧レベル76dB、再生周波数は80~12,000Hzで、Web会議に最適だという。



Permier AIR PRO(多摩電子工業)

マイクには、エコーを抑えてお互いがスムーズに話せるエコーキャンセラー機能と搭載している。半径2m程度/360度の集音範囲を可能にする無指向性マイクを採用している。

操作に便利な天面ボタンレイアウトを特徴とする。音量調節(+/-ボタン) ボタンとマイクミュートボタン(LED付)を天面に配置している。

## ■セミナー・展示会情報

<国内>

### ■Neat ウェビナー Neat ソフトウェアアップデート 2023 年秋

日時：11月8日(水) 16:00~

会場：オンライン

主催：Neatframe 株式会社

詳細・申込：

<https://event.on24.com/wcc/r/4390768/54053F64230E544715E4776E498465D2>

**■Microsoft Teams Rooms を比較体験セミナー**

日時：11月16日（木）10:00～16:00

会場：オンラインセミナー

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/2311vtv/>

※Lenovo、neat、Yealink、3社の機能・性能・特長を徹底比較する内容。

**■ブイキューブセミナー情報（11月）**

「WebRTC サービス勉強会」「Zoom の電話って何？」  
「バーチャル株主総会 事例 Q&A セミナー」「ファンが  
「沼る」ライブ配信とは？」「実演！ライブ配信・ビデオ  
通話アプリ開発」など

会場：オンライン／オンデマンド／東京

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

**■Webex Meetings 関連ウェビナー（11月）**

会場：オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：[https://www.cisco.com/c/m/ja\\_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html](https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html)

**国内その他**：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

**業界の動き**

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNAレポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

**定期レポートバックナンバー**

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記URLで閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2023年10月31日号

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：[cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)